

採択理由

プログラム名：安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策
技術等を実用化するプログラム
対象とするテーマ：【テーマ8（1）（2）】
人物画像解析システムの開発
課題名：人物映像解析による犯罪捜査支援システム
提案機関名：大阪大学
研究代表者名：八木 康史

コメント

本提案は、防犯カメラなどの動画や非正面画像に対応した高速な顔検出・照合技術を開発する取組であり、開発計画は開発要素の実現難易度を明らかにするなど具体的であるとともに、特有な開発技術力を持つ多くの参画機関が連携して臨む実施体制であることなどから、実用的なシステムの実現が期待され、評価できる。また、顔認証技術に加えて歩容認証技術を取り込むなど意欲的な提案であり、認証精度の向上が期待できる。なお、データベースの状況により歩容認証が使えない場合の限界値も明確にして開発すること、及び多くの機関で開発を分担することから、システム機能・性能の統合性について留意しながら開発を進めることを期待する。

【採択条件】テーマ8-（1）（技術開発期間2年、実証期間1年）とテーマ8-（2）（技術開発期間3年、実証期間2年）におけるそれぞれの開発計画（達成目標、スケジュール、所要経費）を明確に仕分けること。具体的には、ミッションステートメント、年次計画概要、所要経費の見込み額について、テーマ8-（1）とテーマ8-（2）の区分を設けて作成し、提出すること。